

## 第4章 権現山遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

権現山遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の南東端部に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。また、南側は旧清水という小川が流れる低地で、やはり急傾斜の斜面を形成する。標高は16～18 mを測る。遺跡の範囲は南北300 m、東西300 m以上ある。

周辺の遺跡は、台地続きの北側に縄文時代前期・中期・晩期、古墳時代の集落がある著名な上福岡貝塚、台地下の低地面に縄文時代早期・前期、古墳から奈良・平安時代の集落跡である滝遺跡がある。

権現山遺跡は大正6年に安部立郎氏により「権現山といふ円形古墳」(安部 1917)として紹介された。その後、1937年(昭和12年)に山内清男、関野克によって上福岡貝塚が調査された折に作成された遺構配置図には、新河岸川沿いに3群6基の古墳が記述されている。(山内 1937)戦後は『埼玉縣史』(1951)、『古墳調査報告書—入間地区—』(1961)等に古墳の記載がある。しかし、1965年に行なわれた通称「厄病塚」(権現山北古墳群2 M・3 M)の調査では古墳の確証が得られず、十三塚の可能性が考察されている。

一方、通称「権現山」(権現山古墳群2 M)は徳川家康が鷹狩りに訪れたという伝承から、1963年に市指定文化財(上福岡市)に指定された。資料上の初見は元禄12(1699)年の「武州入間郡福岡村除地水帳」に「権現社地」の記載があり、塚の上には天保11(1840)年2月造立の「東照神祖命」の石造物が安置される。

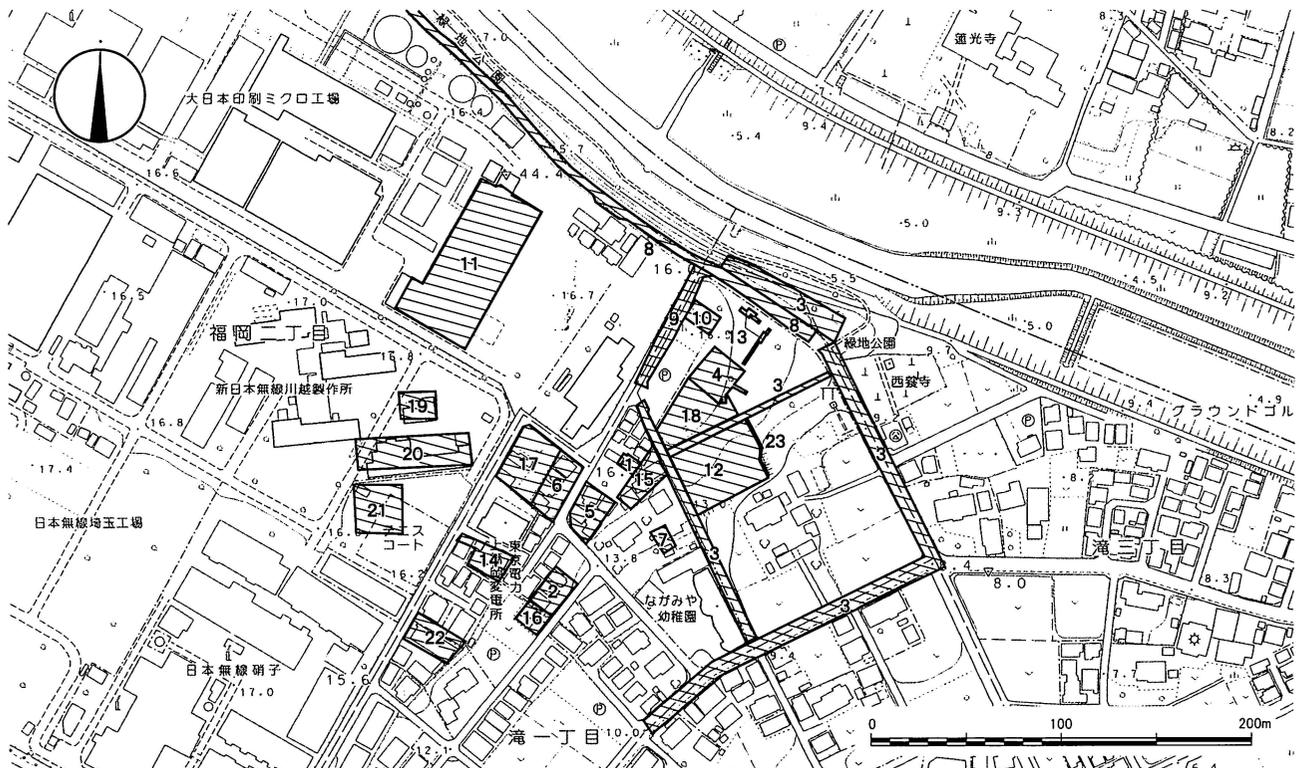
その後1982年～1993年までの6次にわたる発掘調査により、古墳時代前期の古墳群(11基)が発見され、「権現山」はいわゆる前方後方墳であることが判明し、2002年3月22日県指定文化財に指定された。

1982年以来23ヶ所で調査が行なわれている。主たる時代と遺構は縄文時代中期の集落、古墳時代前期の方形周溝墓群、古墳時代の集落、奈良・平安時代の集落である。なお、滝遺跡の第3・5・9・10次調査および、1995年と2002年の試掘は権現山遺跡の範囲に入っているため、権現山遺跡1、2、5～7、14、17地点へ変更した。

### 文献

安部立郎 1917「川越町付近に於ける石器時代の遺跡分布」『人類学雑誌』32巻2号

山内清男 1937「福岡構内石器時代遺跡発掘調査報告 付 関野克 住居址略報告」



第52図 権現山遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第 24 表 権現山遺跡調査一覧表

地点番号	所在地	調査期間( )は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	収録報告書
1	滝 1-4-15	1980.6.27 ~ 7.3	76	個人住宅	古墳住居跡 1、甕 (旧滝 3 次)	埋蔵文化財の調査 (III)
2	滝 1-3-21	1980.7.20 ~ 31	330		遺構無し、中世以降陶器片 (旧滝 5 次)	埋蔵文化財の調査 (III)
3	滝 3-4-7	1982.1.20 ~ 2.6	50	自転車置場設置 (公共事業)	古墳方形周溝墓、壺形土器、縄文中期住居跡 1、縄文土器多数	56 年度教育要覧
	滝 1-5-4	1982.12.8 ~ 28	200	範囲確認調査	古墳方形周溝墓 6、古墳住居跡 1	埋蔵文化財の調査 (V)/ 上福岡市史資料編 1
4	滝 1-5-4	1983.5.18 ~ 6.28	100	範囲確認調査	古墳住居跡 1、方形周溝墓 1	埋蔵文化財の調査 (VI)
5	滝 1-4-4	1984.5.11 ~ 22	466	住宅建設	溝 2(旧滝 9 次)	埋蔵文化財の調査 (VII)/ 上福岡市史資料編 1
6	滝 1-3-17	1984.6.1 ~ 12	363	住宅建設	古墳住居跡 1、溝 4、土坑 3(旧滝 10 次)	埋蔵文化財の調査 (VII)/ 上福岡市史資料編 1
7	滝 1-4-2	1984.6.28 ~ 30	33	物置建設	集石 2、土坑 2(旧滝 11 次)	埋蔵文化財の調査 (VII)/ 上福岡市史資料編 1
8	大字福岡 1500	1985.1.20 ~ 2.25		市道舗装工事	方形周溝墓 2、古墳 3、須恵器・壺形土器	59 年度教育要覧/ 上福岡市史資料編 1
9	滝 1-4-8	1985.8.9 ~ 9.9	430	範囲確認調査	古墳住居跡 2、平安住居跡 2	埋蔵文化財の調査 (VIII)
10	滝 1-5-9,10	1986.2.10 ~ 22	202	範囲確認調査	第 2 周溝墓の前方部の調査	埋蔵文化財の調査 (VIII)
11	福岡 3-1187-4	1988.6.7 ~ 6.14	3,200	工場増築	古墳 1、奈良・平安住居跡 4	
12	滝 1-6-7	1989.2.20 ~ 3.6	2,000	農地改善工事	古墳住居跡 3、方形周溝 4、古墳溝跡 1、中世大溝跡 1、時期不明溝跡 1	埋蔵文化財の調査 (I1)/ 上福岡市史資料編 1
	滝 1-6-1	1989.5.8 ~	1,724	農地改善工事	方形周溝 4	H1 年度教育要覧
13	滝 1-5-4	1993.7 ~ 8		範囲確認調査	2 号墳、11 号墳のトレンチ調査	上福岡市史資料編 1
14	滝 1-3-13	1995.11.27 ~ 30	462	共同住宅	遺構・遺物無し (旧滝試掘)	埋蔵文化財の調査 (18)
15	滝 1-4-3	1996.4.15 ~ 5.7	396	個人住宅	古墳住居跡 1、溝 1(時期不明)	埋蔵文化財の調査 (19)
16	滝 1-3-49	2002.5.29 ~ 30	165	個人住宅	遺構・遺物無し (旧滝試掘)	埋蔵文化財の調査 (25)
17	滝 1-3-16	2004.5.17 ~ 27	856	範囲確認調査	奈良竪穴住居跡 2(16、17 号)【調査済み】	埋蔵文化財の調査 (27)
18	滝 1-5-4	2006.4.25 ~ 27		古墳群保存整備工事		
19	字福岡 2-1500-23(工場内)			工場増築		
20	字福岡 2-1500-23(工場内)			工場増築		
21	字福岡 2-1500-23(工場内)			工場増築		
22	滝 1-3-58 ~ 60			住宅建設		
23	滝 1-6-7	2008.10.23 ~ 29	1,576	古墳群保存整備工事	遺構・遺物無し	

II 権現山遺跡第 23 地点

(1) 調査の概要

調査は古墳整備事業に伴うもので、ふじみ野市長より 2008 年 10 月 1 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は古墳群の中にあるため、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 10 月 23 日から同月 29 日まで行なった。幅約 0.5 m のトレンチ 1 本を設定し、人力で表土除去後、表面精査を行なった。調査の結果、遺構覆土を検出したので、一部掘り下げたところ、中世以降の土坑 3 基、集石 1 基を確認した。調査地は南向きの斜面地で、南側の低地へ向かうにつれ、地山の傾斜が強くなり、南側トレンチでは地山を確認していない。建築による遺構への影響がないため工事立会いとし、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。なお、旧石器時代の確認

調査はしていない。

(2) 遺構と遺物

【土坑 1】トレンチ北側で端部を検出。覆土は軟質な茶褐色土。

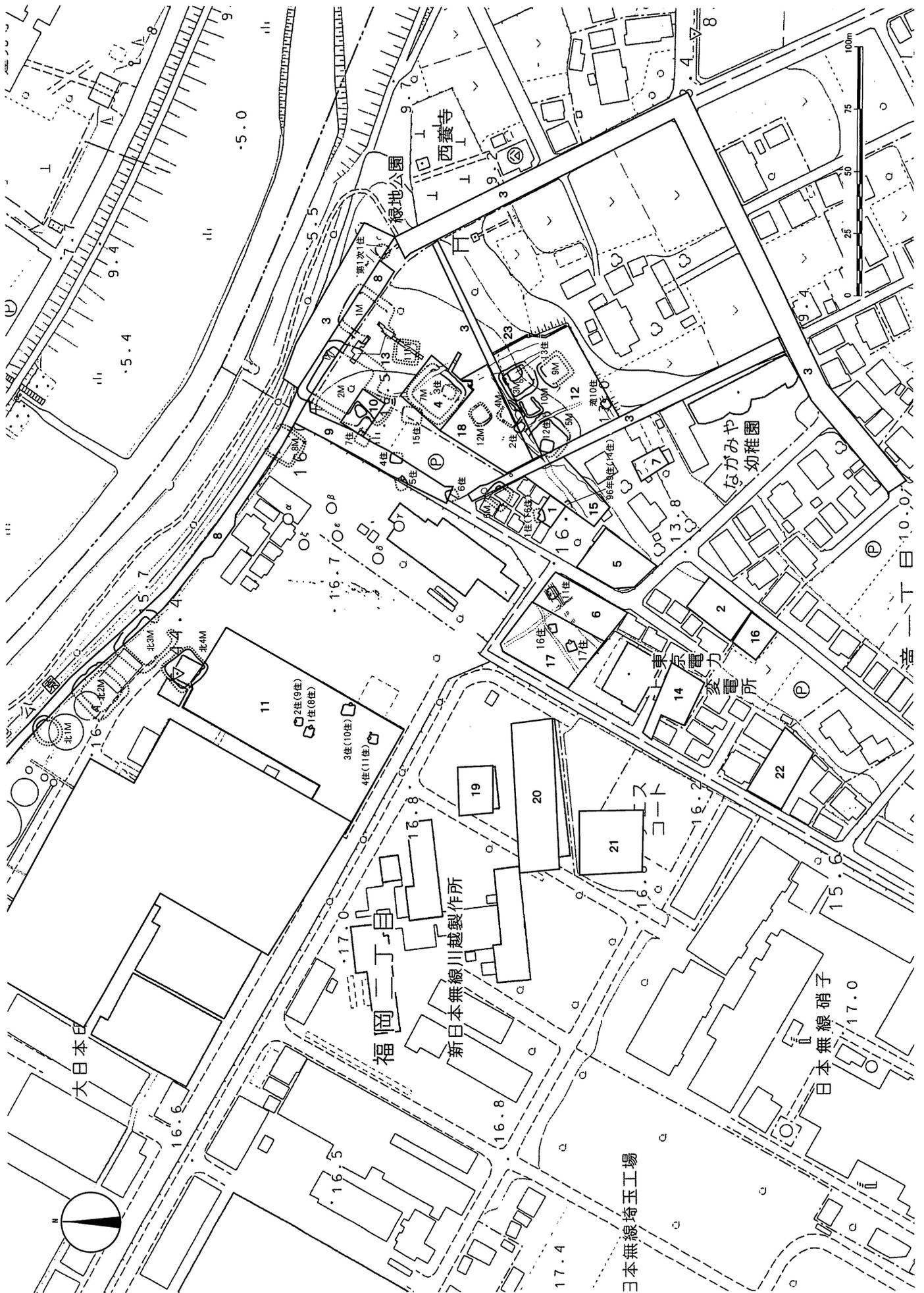
【土坑 2】トレンチやや北寄りに一部を検出。覆土は軟質な黒褐色土。

【土坑 3】トレンチ中央に検出。覆土は軟質な黒褐色土。

【集石】トレンチ中央で検出、径 1 ~ 5 cm の礫が隙間なく埋る。中世以降。

第 25 表 権現山遺跡第 23 地点遺構一覧表 (単位 cm)

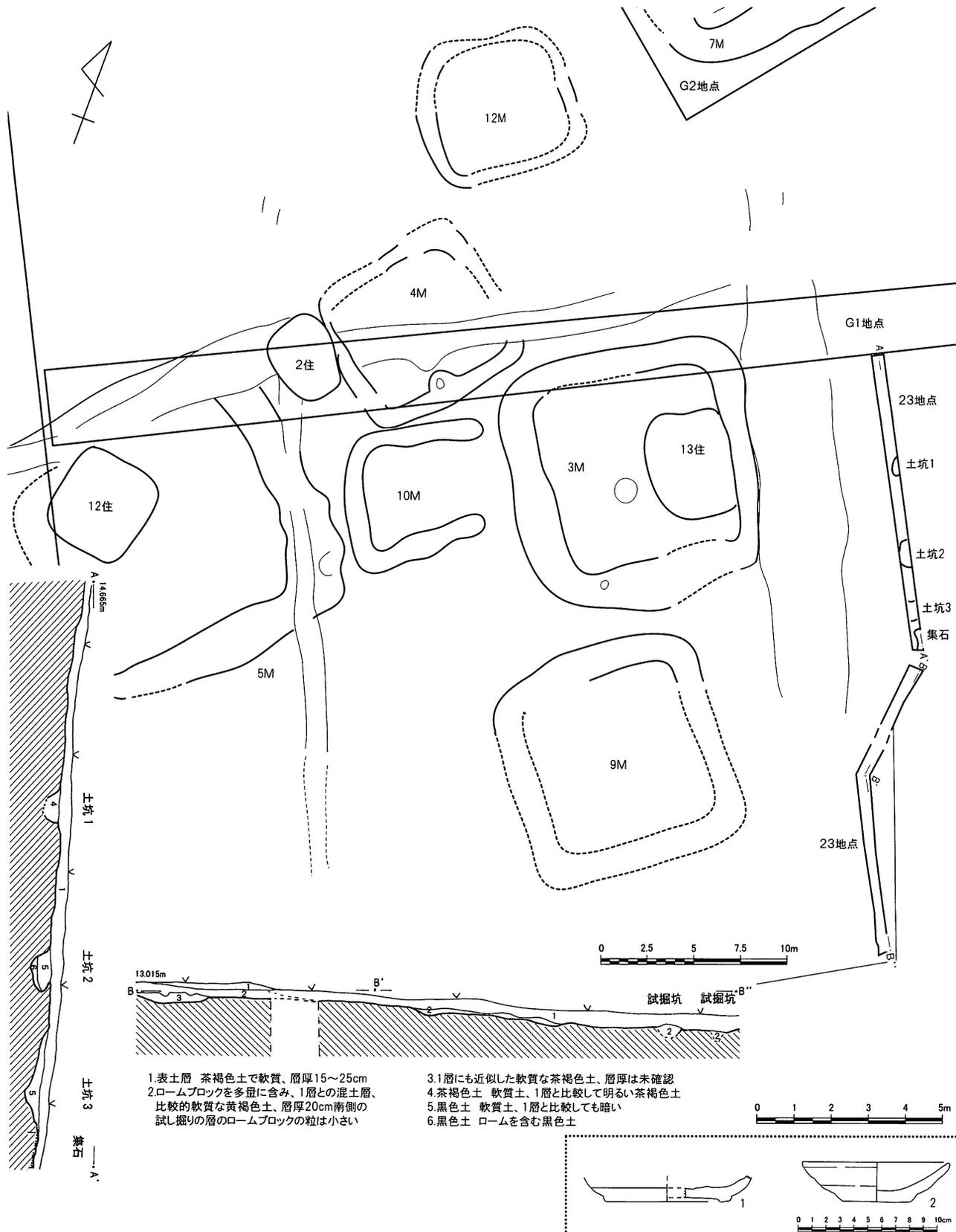
No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
土坑 1		(95) × (20)			東側へ伸びる、底は未掘
土坑 2		(95) × (40)	(75) ×	58	東西側へ伸びる
土坑 3		(260) × (40)			東西側へ伸びる、集石より古
集石		(90) × (40)			土坑 3 より新



第53図 権現山遺跡遺構分布図 (1/2,000)

第26表 権現山遺跡第23地点出土遺物観察表 (単位cm)

図版番号	掲載番号	遺構名	種別・器種	口径・長	底径・幅	器高・厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
54 図	1	北側トレンチ	須恵器・碗	—	(9.0)	—	轆轤成形。底部回転糸切後高台貼付け / 黄灰色 / 砂粒 (~1mm) 少量 / 注No.北側トレンチ2		9C	底部
	2	北側トレンチ	土器・カワラケ	(10.8)	(5.0)	2.8	轆轤成形。底部回転糸切後未調整 / にぶい黄褐色 / 砂粒 (~0.5mm)、赤色粒子 (~0.5mm) 少量 / 注No.北側トレンチ1		16C	1/4以下残存

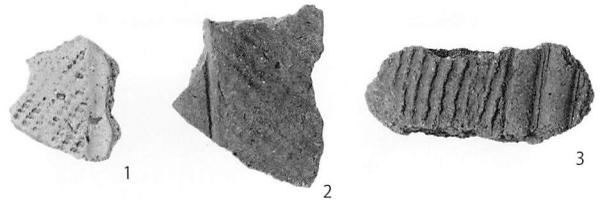


第54図 権現山遺跡第23地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、出土遺物 (1/4)

ハケ遺跡 C 区第 8 地点、権現山遺跡第 23 地点、亀居遺跡第 63 地点 (1)



ハケ遺跡 C 区第 8 地点全景



ハケ遺跡 C 区第 8 地点出土遺物 No.1 ~ 3



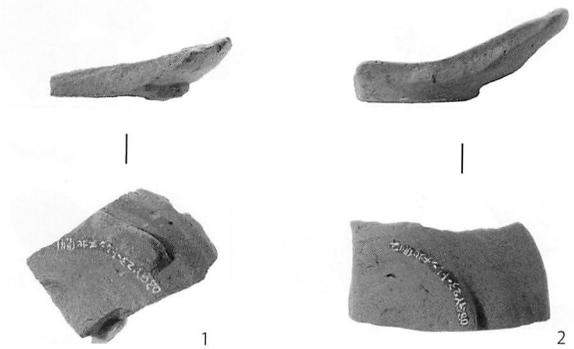
権現山遺跡第 23 地点



権現山遺跡第 23 地点



権現山遺跡第 23 地点集石



権現山遺跡第 23 地点



亀居遺跡第 63 地点全景



亀居遺跡第 63 地点 16 号住居跡

## 報告書抄録

書名	市内遺跡群6		シリーズ名	ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第7集			
編集者	高崎直成		著者	高崎直成			
編集機関	ふじみ野市教育委員会		所在地	〒356-8555 ふじみ野市大井中央一丁目1番1号 TEL 049 (261) 2811			
発行日	2011年(平成23年)11月30日						
所収遺跡地点名	所在地	市町村コード	北緯	調査開始	調査面積	調査原因	
		遺跡コード	東経	調査終了	m <sup>2</sup>	調査担当者	
	種別 / 主な時代・主な遺構・主な遺物						
特記事項							
川崎遺跡第25地点	川崎 203-1、203-3 の一部	112453	35° 53' 22"	20080414	55	個人住宅建設	
		25-003	139° 31' 13"	20080417		高崎直成	
	集落跡 / 平安時代・掘立柱建物跡1棟、近世・溝1条、地下室1基・縄文土器、灰釉陶器、土師器、須恵器、近世陶磁器 古代集落の北端で掘立柱建物跡を検出						
川崎遺跡第26地点	川崎 230-5	112453	35° 53' 17"	20080421	228	個人住宅建設	
		25-003	139° 31' 12"	20080517		越村篤	
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡4軒、土坑6基、ピット20基、近代以降の井戸1基・石器、土師器、須恵器、石製品、近世陶磁器 古代集落の中央で住居跡群を検出						
川崎遺跡第27地点	川崎 1-7-1	112453	35° 53' 06"	20080515	112	個人住宅建設	
		25-003	139° 31' 05"	20080521		坪田幹男・高崎直成	
	集落跡 / 時期不明の溝1条、土坑1基 東西に続く溝の一部を検出						
川崎遺跡第28地点	川崎 230-7	112453	35° 53' 17"	20080704	160	個人住宅建設	
		25-003	139° 31' 13"	20080808		越村篤	
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡2軒、土坑2基・土師器、須恵器、石製品、近世陶磁器 古代集落の中央で住居跡群を検出						
川崎遺跡第29地点	川崎 230-1	112453	35° 53' 18"	20080709	108	個人住宅建設	
		25-003	139° 31' 13"	20080822		越村篤	
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡2軒、溝3条・土師器、須恵器、石製品、銭貨、近世陶磁器 古代集落の中央で住居跡群を検出						
川崎遺跡第30地点	川崎 230-6	112453	35° 53' 17"	20080717	200	個人住宅建設	
		25-003	139° 31' 13"	20080905		越村篤	
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡4軒、井戸3基、土坑4基、溝5条・縄文石器、土師器、須恵器、灰釉陶器、石製品、銭貨、近世陶磁器 古代集落の中央で住居跡群を検出。墨書土器検出						
ハケ遺跡C区第8地点	福岡 3-2069-9	112453	35° 53' 06"	20090317	11	個人住宅建設	
		25-005	139° 31' 21"	20090317		高崎直成	
	集落跡 / 縄文時代住居跡確認・縄文土器						
権現山遺跡第23地点	滝 1-6-7	112453	35° 52' 49"	20081023	12	古墳整備	
		25-009	139° 31' 40"	20081029		坪田幹男・市丸靖子	
	集落跡 / 時期不明土坑3基、集石1基						
亀居遺跡第63地点	亀久保 2-13-5	112453	35° 51' 51"	20080917	312	モデルルーム	
		30-030	139° 30' 28"	20081015		高崎直成	
	集落跡 / 縄文時代竪穴住居跡1軒、土坑3基、ピット29基、近世以降の溝1条・縄文土器						
松山遺跡第45地点	築地 3-4-7 の一部外6筆	112453	35° 52' 20"	20080904	390	道路築造	
		25-010	139° 31' 51"	20081023		越村篤・高崎直成	
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡2軒、掘立柱建物跡2棟、時期不明の溝10条、溝状遺構3基、ピット4基・土師器、須恵器 建材と思われる「クリ」と「イネ科」の炭化材が出土した焼失住居跡を検出						